

## 宇宙基地日米計画調整委員会結果概要

平成 8 年 9 月 1 8 日  
調 査 国 際 室

宇宙基地日米計画調整委員会（PCC）が、米国航空宇宙局（NASA）本部にて平成 8 年 9 月 6 日（金）の午前 9 時～12 時に開催され、科学技術庁及び NASA 間で以下の事項に合意した。

## 1. 日本実験棟（JEM）打ち上げスケジュールについて

- 両者は、JEM プログラムに与えるインパクトを最小限とするため、日本の早期利用機会の確保及び日本人宇宙飛行士の選抜に配慮する。
- 科学技術庁は、JEM 打ち上げスケジュールの変更を正式に受け入れるべく、直ちに国内手続きを開始する。
- NASA は、更なる JEM 打ち上げスケジュールの遅れがないよう最善の努力を講じる。

## 2. H-ⅡA/HTV によるシステム運用共通経費の相殺について

- NASA との合意に従い、システム運用共通経費のオフセットとして HTV を利用できる旨、両者は認識した。
- 両者は、HTV 打ち上げスケジュール及び輸送品目を確定すべく二極間交渉を開始する。

## 3. 日本実験棟（JEM）打ち上げ経費の相殺について

- 両者は、CAM/CF/LSG の開発が JEM 打ち上げコストの相殺（オフセット）として相互に有益であることを認識した。
- 科学技術庁及び NASA が、オフセット交渉を開始する意図を示す書簡を 9 月 30 日までに発出した場合には、両者は、早急に取極を締結するよう努力する。
- 両者は、活動の等価性、及びオフセット取極締結以前の JEM 打ち上げ作業の開始という重要な問題が存在することを認識した。

## 4. 搭乗員緊急帰還機及び同試験機に係る協力について

- 両者は、NASA の搭乗員緊急帰還機（CRV）及び同試験機（X-CRV）プロジェクトにおいて、協力分野が存在することを認識した。
- 両者は、協力の実現性を評価するための 90 日スタディを開始する。